

JWA JAPAN TOUR 2023-2024 FREESTYLE # 4

TSUKASA 浜名湖フリースタイルチャンピオンシップ

～大会レポート～

日程 2023年12月16日(土)～12月17日(日)

場所：静岡県浜松市西区村櫛海岸

レポート：JWA 公認プロ 津野 健介

JWA フリースタイルツアーの最終戦が今年も静岡県浜名湖村櫛海岸にて開催されました。

浜名湖の村櫛海岸は、冬の季節には西風が強く吹き、海面がフラットというフリースタイルにはうってつけのスポットとなっています。今大会も大会前から強い風が吹く予報が出ており選手も吹いた中でのイベントを楽しみにしていたことでしょう。

そして、今大会にはスラローム等でJWAのイベントの数々を支えてくださっている『司企業株式会社』様がメインスポンサーとして多くのサポートをしていただきました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

また、大会会場には、守屋選手のスポンサーである『株式会社キャタラー』様から観客用のコンテナと選手用の休憩コンテナが設置され、観客の皆様も選手の皆様も快適な環境での観戦、休憩をすることができました。

このような整った環境により選手一同のパフォーマンスが上がり、見応えのある演技が数多く見られた大会となりました。



今大会の出場者は、プロ9名、スペシャル5名、オープンA5名、オープンB8名、ウィメンズ4名、ノンプレスペシャル7名、ノンプレオープン(over21)4名、ノンプレオープン(under20)3名、ノンプレビギナー3名、となりました。

プロクラス

2 日目がメインで行われたプロクラスでは選手が3.台後半から 4.0 のセイルサイズをチョイスする人がほとんどの爆風コンディションでの試合展開となりました。

シングルの結果は1位守屋選手、2位杉匠真選手、3位小林選手となりました。

ダブルイリミネーションでは、2位の杉選手に挑んだ小林選手は負けてしまい3位となり、優勝をかけた戦いは守屋選手と杉選手の戦いとなりました。通常は片側5ムーブ2ピックアップで点数がつけられますが、ファイナルは片側6ムーブ3ピックアップの方式で点数がつけられました。これは選手が6分間の間に合計12回の技のトライをすることが可能で、その中から最高スコアの6個のトリックの合計で競うという海外と同じ方式になります。

海外の試合経験が豊富な二人の試合はレベルが非常に高く、爆風フリースタイルという難度が最も高いコンディションにも関わらず、E 難度以上のトリックを両サイド安定したライディングでミスもほとんど無く淡々とこなしていきます。世界的に見てもハイレベルで上位を狙えるような試合内容で、観客、選手一同大いに盛り上がったヒートでした。

杉選手が勝てばグランドファイナル、守屋選手が勝てば完全優勝のこのヒートのスコアは杉選手が105.5点、守屋選手が107点と1.5ポイント差という僅差で守屋選手が完全優勝を果たしました。ワールドトップクラスの演技が日本でも見る事ができた素晴らしいヒートでした。



スペシャルクラス

スペシャルクラスは中学2年生の杉選手がプロ資格獲得に向けて、梅川選手、土井選手、市川選手のベテラン選手に立ち向かうような試合展開となりました。土井選手に勝利した杉選手は、市川選手に勝利した梅川選手と決勝を戦うこととなります。杉選手と梅川選手は本栖湖の大会から今大会まで勝ち負けをお互い1回ずつ繰り返しているため、今大会が年間ランキングを決める大事な試合です。



杉選手はフォワード、フラカ、シャカをメイクし、梅川選手に勝利し、来シーズンからのプロ資格を得ることができました。

オープンAクラス

オープンAクラスは岡本選手、互井選手、安田選手の3人の出場となりました。爆風の中オープンAクラスは3.0前後のサイズを利用して試合に挑みました。今シーズンから試合に復帰した安田選手も参加し、女子選手もレベルが高くなってきています。その中で優勝したのは互井選手でした。バルカンを爆風コンディションの中見事メイクし優勝しました。2位の岡本選手、3位の安田選手もバルカンを非常に難しいコンディションでほぼメイクしました。



オープン B クラス

オープン B クラスの選手にとって、浜名湖の今大会の爆風は非常に厳しいものかと思われましたが、選手全員爆風を物ともせず果敢にジャンプトリック、カービングトリックを多く仕掛けていきました。優勝したのは後藤選手で、バルカンをしっかりスライドさせ、あと少しでメイクというところでした。トライ数が非常に多かったです。上田選手もバルカンのトライやカービング系にトライし、2位となりました。3位の掛川選手も成長著しく、フラカのトライやバルカンに果敢にトライをしていました。



ウィメンズクラス

ウィメンズクラスはオープン A、オープン B に参加している 4 選手がエントリーし、暴風の中、果敢にジャンプトリックをトライし、非常にガッツあるライディングが全選手に見受けられました。今大会で優勝したのは、互井選手で年間のウィメンズランキングも勝ち取りました。安田選手、後藤選手、堺選手の追い上げも次回の大会から楽しみな展開です。



ノンプレニングビギナークラス

ノンプレビギナークラスでは村
檳海岸 winds171、windvillage 所属
の3選手が普段練習している海岸
にて、しのぎを削りました。優勝
したのは影山選手、安定して、ビギナ
ークラスとは思えないキレのある
ノンプレトリックを披露し勝利し
ました。3名の選手はぜひ今後の大
会にも参加して、レベルアップし
ていていただきたいと思いま
す。



ノンプレニングオープン U20

ノンプレオープンクラスの優勝
は、オープン B でも大健闘した掛
川選手です。日頃逗子で練習して
得たスキルが顕著に試合に現れて
います。堺選手、渡邊選手も着実に
ノンプレのレベルが上がってい
て、フリースタイル全般のスキル
の向上も楽しみです。



ノンプレニングオープン over21

ノンプレオープン over21 を制し
たのは上田選手です。上田選手は
ノンプレクラスで今大会が初優勝
を飾りました。今大会のノンプレ
オープン over21 の選手全員、規定
演技でのミスがほとんど無く、常
にボードの上でセイルを落とさ
ず、安定した演技が見受けられま
した。



ノンプレニンググスペシャル

ノンプレスペシャルを優勝したのは津野選手で年間タイトルも獲得しました。今大会でも安定したセイルトリムとリズム間で見事優勝しました。



表彰式

表彰式では、今大会は豪華賞品、また今大会の全クラスの優勝者でシャンパンファイトが行われたりで大いに盛り上がりました。

表彰式



ノンプレビギナー
優勝 影山 翔悟
2位 鈴木 啓生
3位 戸塚 玄



ノンプレオープン U20
優勝 掛川 竜誠
2位 堺 希海
3位 渡邊 樹



ノンプレオープン over21
優勝 上田 能弘
2位 田中 孝典
3位 近藤 祥平



ノンプレスペシャル
優勝 津野 健介
2位 杉 匠真
3位 山本 卓史



ウィメンズ

優勝 互井 千恵子
 2位 安田 亜希子
 3位 後藤 幸子



オープン B

優勝 後藤 幸子
 2位 上田 能弘
 3位 掛川 竜誠



オープン A

優勝 互井 千恵子
 2位 岡本 隆治
 3位 安田 亜希子



スペシャルクラス

優勝 杉 遼真
 2位 梅川 努
 3位 市川 孝雄



プロ

優勝 守屋 拓海

2位 杉 匠真

3位 小林 悠馬

メディア

1日目

<https://photos.app.goo.gl/khjMuukkvPvL9mnt9>

2日目

<https://photos.app.goo.gl/t6BMWXoj1EgRAeup7>

映像

https://youtu.be/kDn_6jW1QFk?si=aXX8pJithNaON94U

メインスポンサー

司企業株式会社

協賛企業

・株式会社キャタラー ・ウインズ 171 ・ウインドヴィレッジ ・株式会社アトラス ・SKYWINDJAPAN ・六会珈琲 ・株式会社オンズカンパニー ・スターボードジャパン株式会社 ・株式会社マニユールライン ・有限会社 EO ・株式会社レッドアイアン ・株式会社シ・ワールド ・株式会社エス・エム・ジェイ